2

一般社団法人外国人介護職員支援センター（千葉県市川市）

生徒の意欲を向上させる学習支援でより質の高い外国人介護職を育成

介護福祉士国家試験対策講座の様子。なかには、夜勤明けや遠方から参加する生徒もいる

実践的な日本語教室から国家試験対策講座まで開催

一般社団法人外国人介護職員支援センターでは、在日外国人介護職向けの学習支援を行っている。

代表の井上文二さんは、14年前から介護資格取得支援の会社を経営していたが、生徒の減少などで2016年に倒産。しかし、その会社で外国人介護職の社交的で勉強熱心な姿に接し、彼女らが日本の介護業界に必要な人材だと痛感した。サラリーマンをしながらボランティアで始めた外国人介護職向けの学習支援をさらに展開し、より質の高い外国人介護職の育成に取り組むため、今年1月に同センターを設立した。

主な活動は、外国人介護職向けの実践的な日本語教室や、介護福祉士国家試験対策講座、実務者研修添削課題勉強会の開催など。

千葉県市川市の公民館2カ所で、毎週木・土曜日に2時間ほどの講座を開講している。生徒の負担額は1000円／回のみ。EPA候補者や永住権をもち、介護現場で働く外国人なら誰でも参加可能。なかには東京都八王子市から通う生徒もいる。井上さんが管理するFacebookのグループページでは、生徒や受講を考える外国人介護職が参加し、講座の様子を写真で共有できるほか、講座の出欠状況や介護福祉士の資格取得に関する相談等にも対応する。以前の会社経営でのつながりや口コミで、毎回20人近くの生徒が講座に参加している。

「介護福祉士をめざす理由は、自身のスキルアップだけでなく、母国への仕送りを考え、安定した収入を希望するから。介護事業所のなかには、シフト調整に協力的な

Key Word

EPA介護福祉士候補者

経済連携協定（EPA）に基づき、日本の介護現場で働きながら介護福祉士資格取得をめざす人材を指す。現在、インドネシア、フィリピン、ベトナムの3カ国から受け入れている。国家試験の際、EPA介護福祉士候補者には、筆記の試験時間の延長や、ふり仮名がふられた問題用紙での受験などの特例がある。

外国人向け講座開講の

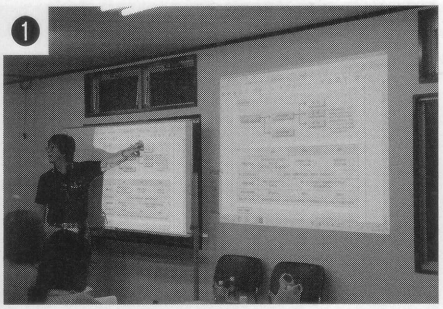
-Point-

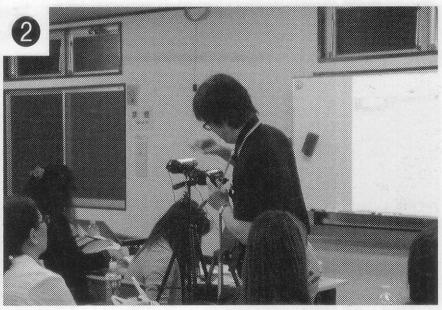
❶ 教材などにふり仮名を付記

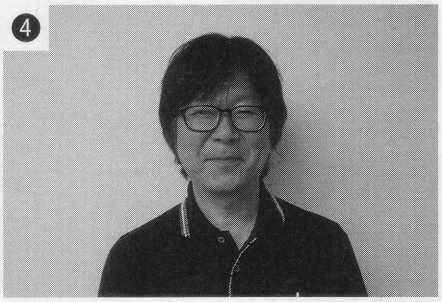
問題用紙や教材、配布物にはすべてふり仮名をふり、生徒が日本語を辞書等で調べる手間を省く

❷ オンラインでの講座配信

介護現場で働きながら講座を受けるのは、生徒や施設にも時間的な負担がかかる。そのため、毎回講座を動画で撮影し、オンライン上での学習体制も整える







Photo

❶ホワイトボード上でもふり仮名を付記したり、簡単な日本語に言い換えて解説をする
❷オンライン講座用に毎回、ビデオカメラで授業内容を撮影
❸「介護福祉士をめざして頑張ります」と意気込む生徒の皆さん
❹同センター代表の井上文二さん

ところもありますが、まだまだ理解は十分ではない」と指摘する。

生徒目線の学習環境を整える

生徒自身の移動に伴う時間的負担を解消し、仕事との両立を図るため、同センターでは普段の講座を撮影した動画を活用し、オンライン講座も開講している。

生徒が学習を続けるうえで、最重要課題はモチベーションの維持・向上。外国人向けの介護教材であっても、漢字が多用されていたり、表現が硬く理解しがたいと、生徒の勉強への意欲は低下する。「講座では、配布物や教材などにふり仮名を付記し、生徒が希望する場合は、使用テキストにふり仮名をふったコピーも作成し、配布しています」と、井上さん。

また、介護福祉士の資格試験で満点ではなく、確実に60点以上獲得できるよう講座内容を絞り、短時間でも効率的に勉強を進められる工夫をしている。さらに、講座内で使われる難しい日本語の表現は英語で説明するなどして、生徒が辞書で調べる手間を省き、学習時間の確保にもつなげている。

講座を受講する生徒からは「同じ目標をもつ仲間と授業を受けることでモチベーションが上がる」「オンライン講座を仕事の合間に活用し、復習している」といった声があがっている。

今後は市川市以外での開講をめざし、フランチャイズでの展開も検討している。

一般社団法人
外国人介護職員支援センター
〒272-0021
千葉県市川市八幡5-15-14
TEL：047-713-6214
URL：http://caregiverjapan.org/